



BUCCELLATI

MILANO DAL 1919

ブチェラッティ、アイコニックなコレクション「オペラ チュール」から プラチナ ペンダントの新作を発表



イタリア・ミラノの老舗ジュエリーメゾン、ブチェラッティを象徴する「オペラ」コレクション。アイコニックなモチーフを中心に据えたコレクションは、光を浴びて変化する豊かな表情と、見る人を瞬時に引き込む華やかな佇まいが特徴です。なかでも「オペラ チュール」は、伝統の彫金技術によって極限まで細密に表現された、唯一無二の気品と圧倒的な美しさを湛えています。

「オペラ チュール」コレクションは、リング、ソートワール、ブレスレット、バングル、ペンダント、ボタンイヤリングを3つの異なるデザインで展開し、全てのデザインに、ブチェラッティのメゾンのクラフツマンシップを象徴するチュール細工が放射状にあしらわれています。モチーフには、オニキスやマザーオブパールといった半貴石やカラーエナメルをセットしたデザインや、あえて半貴石を施さずチュール細工そのもののものがもたらす透明感と軽やかさを際立たせたデザインがあります。それぞれダイヤモンドをセットしたモデルと、セットしないモデルをラインナップしています。

エナメル装飾は、ギリシャ・ローマ時代の伝統的な金細工にまで遡り、ビザンティン美術の時代に代表的な手法として発展しました。5世紀以降は教会や大聖堂、ドームの装飾に用いられるようになり、18世紀にはカップや器、銅製の水差しにも施されるようになりました。

その後、精巧なエナメル装飾は時計やコンパクトケース、シガレットケースなどに見られるようになり、19世紀から20世紀にかけて金細工を用いた歴史的な意味を持つ美しい装飾品が多く登場しました。ブチェラッティは、歴史ある伝統的なエナメル装飾に新たな息を吹き込み、優美な魅力と輝きを宿すモチーフとして復活させました。伝統的な技法に倣い、ゴールドの表面を均一なエナメルの層で覆い、焼成を重ねて金属に定着させ、ブチェラッティを象徴するチュール装飾を施し、カラーエナメルや半貴石を覆うことで、アイコニックなコレクションに仕上げました。一方で、エナメルや半貴石をセットせずに仕立てられたデザインは、チュール細工そのものの美しさを最大限に引き立てています。



「オペラ チュール」コレクションより、多彩な魅力をさらに深めたプラチナの新作ペンダントが3つのデザインで登場します。このうち2つのモデルを彩るのはクリソプレーズ。清澄なプラチナと鮮やかなグリーンのクリソプレーズが美しいコントラストを奏でるモデルに加え、さらにダイヤモンドを贅沢に配した華やかなモデルの2つのバリエーションで展開します。そして3つ目のデザインは、プラチナとダイヤモンドのみを組み合わせたタイムレスな美しさが宿るモデルです。いずれのモデルも、メゾンを象徴する放射状の緻密なチュール細工を忠実に継承。クリソプレーズの鮮やかな色彩やダイヤモンドの輝きを添えることで、ブチェラッティが誇る至高のクラフツマンシップを際立たせています。

「オペラ チュール」は、ブチェラッティを「メゾン独自のスタイル」と「タイムレスな美」の象徴とする気品、エレガンス、そしてフェミニンな魅力を余すところなく表現した、唯一無二の個性を放つコレクションです。2026年9月、既存のラインナップ（下画像）に、3つの新作ペンダントが加わることで、さらに豊かなデザインで展開します。



BUCCELLATI ブチェラッティ

ブチェラッティはハイジュエリー及びシルバーウェアのメゾンとしてイタリア・ミラノで創業し、そのクラフツマンシップと独創的な作品で広く知られています。まるでレースのように精緻に彫刻を施したホワイトゴールドとイエローゴールドのコンビネーションや豊かな色彩の希少なジュエルストーンなど作品にはブチェラッティならではのディテールが宿り、ルネサンス時代の金細工職人による伝統技術を今に伝えるその工芸的な手仕事とデザインが作品の独自性を際立たせています。

創業者マリオ・ブチェラッティによるデザイン画とオリジナルとなるファーストコレクションはブチェラッティのすべてのクリエイションのインスピレーションでありつづけ、メゾンではリシュモングループ傘下で世界中にブティックを展開する現在も創業家であるブチェラッティ家のメンバーが要職を務め伝統を今に伝えています。